

2017年度西地区部会研究会第1回運営委員会（メール会議）議事要録

西地区部会研究会に関しては、前年度に研究会運営委員会を開催し、研究会の開催日時やメインテーマ等、実施要領を検討することになっているが、委員長校（部会長校・福岡大学）と当番校（西南学院大学）より、2017年度西地区部会研究会の第1回運営委員会は、メール会議の形式で行うことが提案された。2016年度第2回西地区部会役員会（9月8日開催）においてこの提案が了承されたことを受け、下記のとおり2016年10月7日（金）から10月18日（火）にかけてメール会議を開催し、全ての部会研究会運営委員校より審議事項6項目について異議なく了承であることの確認を得た。

記

部会研究会運営委員校：

委員長校	部会長校	福岡大学
委員校	開催地区理事校	九州国際大学
	開催地区研究会幹事校	長崎国際大学
	2016年度研究会当番校	大阪産業大学
	2017年度研究会当番校	西南学院大学
	次期部会長校	大阪工業大学

審議事項：

1. 開催日時および会場について（案）

日時：2017年 9月15日（金）10：30～（受付開始 10：00～）

会場：西南学院百年館（松緑館） 1階多目的ホール

※事務室、控室、業者展示ブース等は、同施設2階を予定

2. メインテーマについて（案）

テーマ「今改めて図書館の防災を考える」（仮題）

◎ 趣旨

2016年4月に発生した熊本地震は、熊本、大分両県の図書館にも甚大な被害をもたらした。学生・教職員をはじめ、一般市民など多くの利用者が出入りする大学図書館には、地震、台風、水害などの自然災害に備えて、人命や所蔵する資料を守るための迅速かつ適切な体制作りが求められている。今回の研究会では、各地区加盟館から災害に対する予防や復旧活動などの取り組みを紹介していただき、大学図書館の防災について様々な観点から考察する機会としたい。

3. 研究会の構成・時間配分について（案）

研究会の構成・時間配分（研究発表の応募件数を待って詳細を決定する）

開会・挨拶 10：30～

基調講演（1題） 10：50～

昼食・見学 12：00～

※ 昼食中に協賛業者による短時間の商品紹介、ブース紹介等を行う。

その際、今回のテーマに沿った防災製品の紹介等を優先する。

研究発表 13：15～ （参考：2016年度は4件）

閉 会 16:00～16:30
※ 閉会後に、新図書館の解説付見学会を実施予定

4. 講演者の人選・演題等について（案）

（1）講演者、演題は現在調整中。

- （講演者案）1. 資料防災という観点から、国立国会図書館等の方、または
2. 一般的防災という観点から、防災協会等の方、または
3. 図書館活動という観点から、saveMLAK等の方、または
4. 図書館防災という観点から、東日本大震災を経験された方

※ 講師への講演依頼は当番校より行なう。

（2）講師謝礼について

研究会費から支出する。所得税は当番校で納税する。

（3）会報への掲載

講演依頼時には、予め依頼し了解を得る。著者原稿を提出してもらう。

5. 研究発表者の人選について（案）

例年、各地区理事校に各地区より1名の発表者を推薦してもらう。

（1）各地区協議会への依頼について

1) 人選の対象：

ア. 5地区協議会理事校に推薦をお願いする。

イ. 1件を複数の者（学内者、他大学関係者等との共同）で担当することは差し支えない。他地区、協会以外の者との共同も差し支えない。

2) 推薦依頼

部会長校から各地区協議会理事校に対して、正式に研究発表者の推薦依頼を行い、各地区協議会理事校は各加盟館長に、研究発表者の推薦をお願いする。

3) 人選締切日：2016年12月20日（火）

4) 研究発表件数

研究発表者の推薦を集約し、研究会当番校と相談の上、部会長校より研究会開催概要（案）を第3回西地区部会役員会で提案し研究発表件数を決定する。

（2）会報原稿執筆について

1) 研究発表の内容は、私立大学図書館協会会報に掲載する。

2) 原稿依頼は研究会終了後、部会長校から文書で行う。

3) 原稿料・資料代として一件あたり1万円。

6. 参加費（案）

2,000円を目安に今年度の執行状況ならびに参加費から支出される費目等について確認後、決定する。ただし、研究発表者、会長校（図書館長・事務局2名）からは参加費を徴収しない。

以上